夕刊 磐城新聞
一月九日發行
發行所 磐城新聞
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇六五八五五番

天氣豫報
小名濱測候所觀測
今晩は北西の風晴
明日は北の風時雨模樣

鳥取遊記(四)
島田忠夫

○個展のこと

驛前の「丸由」デパートから申込みがあり、とにかく一生懸命繪を描いた。東京から携へて行つた數點をませ、十一月二十八日から花々しく個人展覽會をやるわけだつたが、表裝の間に會はぬのもあつて、十二月三日から六日までとなつた。それが又延びて、六日から十二日まで開催した。鳥取で開いた美術展のうちで、未曾有の人氣と、新聞はかいた。お陰で大分賣約した。

×

私は、この自分の個展の結果をみず、急用あつて東京へかへることになつた。その日、各方面へあいさつに廻つた。夕刻から送別會をやつてもらひ、例の平組から二人許りやつて來た。

「先生もう歸んの?マア早いわネ」などと云つてゐた。

「まア、今夜は盆踊りは止めなさい」

と徳田氏も言つてゐた。即席で色紙を二三枚、描かされた。

×

「島田君、二等で歸つて下さい」

「いや、もつたいないヨ」

「お送りが澤山出ますからね」

徳田氏は心配してゐた。

「うしませ」

徳田氏は、紙包を呉れた。

「御車料ですホンの少々」

「なに、いらんザ」

「まア、二等で歸つて下さい。繪の方は安心して下さい。大ていは賣れるから」

紙包には百圓あつた。これでは二等で歸らねばなるまい。才も二等でも東京まで十五圓位なものだ。

×

夜十時の驛頭に、十四五人見送つて呉れた。平組も二人來てゐた。

「どうも僕は仕合せさね。こんな美人に送つてもらつて」

「妾らも、平へ行きたいワ」

彼女等はシンミリしてゐた。

×

途中、城ノ崎の温泉に一泊した。震災後の城ノ崎は新築の温泉宿がピカ〳〵して、感じのいいものではない。しかし、一泊ぐらゐしても飽きる筈はない。

ここは、外湯だ。內湯のない温泉といふのは、どうも落着かないものだ。

×

城ノ崎で[illegible]になつた。京都へも[illegible]ない。

名古屋では、驛へ出てゐる友人もゐる。ここでもう一泊といふわけにもゆかない。初冬の雨に寒い。午ごろ自動車を呼んで城ノ崎驛へ向つた。

雨の空に、烏が寒さうに鳴いてゐた。(をはり)

新春雜吟 (一)
平 華生

○去年磐城今年は千葉に屠蘇を酌む
○躍進の春を迎へて張切りぬ
○事毎にありし磐城の偲ばるゝ
○三年は長し短か 夢心
○三年を過せし磐城ぞ灼く
○三年の磐城は吾れに温かく
○君來ませ常春の國夢の國

新刊紹介

◇平市農會々報 第二號 卷頭譚橋會長の『年頭所感』を以て飾り冬作物の管理等豐富、二十二頁(非賣品其會)

1月10日

△徴兵令公布(明治六) △大隈侯薨去(大正一一) △厚生省設置(昭和一三) △海軍陸戰隊青島港占領(昭)

その日

○
七草を祝へば粥に漂ひてほのかに春の香はありにける　西尾武仁

呈小野幹事長
珠雲 小野務平

(其の二)
嘉謀自在成
進退必持貞
政界一廉士
雄心期肅清

講談

隱密小天狗(おんみつこてんぐ)
中川雨之氏作　近藤鐵氏畫

(206) 裏切る者

この大椿事出來に、永樂屋では肝腎の熊谷、加藤に急報したくても、二丁町の何樓へ行つて居るのか、居所が分らないので、どうすることも、出來ない。

居殘つた浪士や人足どもは、指圖をうける人が無いので、只うろ〳〵と狼狽へるばかり、手のつけようがない。

そ[illegible]い之助に取つて、まことに、天の助けであつて、其の隙にずん〳〵道を急ぐことができた。

「第二階のお客さまが、紛失したあ」

女中の一人が、頓狂な聲で喚き廻つた。

けい之助と駒路のことを言ふのであるが、豫め宵の内に、宿料の勘定をして置いて、それから必死の活動に移つたことを、誰も知るの者は無かつた。

「なにつ、女連れの若い侍だ――其奴が怪しい!」

話を聞いて、殘念がつてみた處が、後の祭で、どうにもならない。

夜明け近く、その騷ぎの中へ、廓の駕籠に昨夜の夢の名殘と、宿醉の身を乘せて、熊谷、加藤の兩人が、なにも知らずにもどつて來た。

話を聞いて、二人が腰を拔けんばかりに驚いたことは言ふまでも無い。

「正雪殿に對して、合す顏が無い、切腹して申譯をしよう」

加藤市右衛門は、眞つ青になつて、聲をふるはせた。

「切腹は厭はぬが、吾々に託された京都燒打の大役を何とする。こゝで死ぬのは大死ではないか」

と、熊谷は止めた。

「じやと言つて、後作が江戸へ着けば、大事がだ」

「よし、拙者は直ぐに追駈よう。府中から江戸へ四十里、神通力でも持たぬ限りは、いくら急いでもそんなに早く行く筈はない、力の限り、根限り、追かけて、キット取り押へてみせる!貴殿は、先に京都へ行つて待つてゐて貰ひたい!」

血氣に逸る熊谷は、そのまゝ宿を飛出してしまつた。しかし、いくら行つても、それらしい影は見えなかつた。

江尻、興津、油井、蒲原吉原まで十里の道を、殆ど一ト飛びのいきほひで驅け續けたがやはり駄目だつた。

吉原から次の原宿までは三里六丁。富士の麓の街道を辿る頃に、なぜか熊谷の歩みは、甚くのろのろとし來た。

兎角うなだれ勝に、何か思案を始めたやうであつたか――。

果然、原も過ぎて、いよいよ沼津に近くなつた時、

「さうだ、俺は、このまゝ逃げてしまはう。どうせ大事が露顯すれば、獄門台に首を並べる身の上だ、いつそ人の知らない他國へ行つて一生を安樂に過ごさう、さうだ――」

後作を江戸へ入れてしまつては、大事は無論露顯するものと思はねばならない

――二進も三進もならなくなつた揚句の果、苦しまぎれに彼はたうたう同志を裏切る氣になつた。

たくみにたくんだ、正雪の秘謀ではあつたが、多勢の同志の中には、かうした酒好き、女好き、遊蕩をせずには居られぬやうな心の緩んだ者がたゞの一人も居ぬといふ譯には行かなかつた。

如何な時代に、如何なる人物が秘策をめぐらす謀叛も必ず破れるのは、一味の中に斯うした人物が必ず一人や二人加はつてゐるからだ。

廣告

おでん たつた揚 やきとり
一平
電話二六三番

酒トマヅイ おでんの
榮ちゃん
平市田町花ノ里 電話三三番

耳鼻咽喉科 專門
平市南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
(入院隨意 病室完備)

精神病科 脳脊髓病科 神經病科
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
内務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
入院隨時
院長 醫學士 金森五郎

晝夜診療
外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
血液檢査每日 ◎入院隨時
平市新川町(電四六四)
醫學博士 北川芳夫

內臟外科 外科一般 花柳病科 (入院隨意)
平市六丁目(橋際)
木村外科醫院
電話三〇九番

銘木(床ノ間材)
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ
福島縣平市 電話平四六〇番
營業種目 建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田產杉四分板 建具材・便利瓦
一驚せる勉强振りを、ぜひ一度お試しを乞ふ
◉小店員募集 年齢十五歲ヨリ廿歲迄

實株は買ツテ御手元へ
必ズ儲カル優良株
投資指針
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話二五八

ダイナモ
バッテリー
四氣筒六氣筒
マグネット
礦山用エンヂン
久野電機
平市紺屋町五三
電話七二一番 振替東京一五、一〇四番

平製氷
タヒ 甘鯛
エビ マナ鰹
白魚 帆立貝柱
冷カツノコ ウニ貝燒
ピンマル冷凍魚
魚問屋
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

御婚禮御着附
パーマネント。ウエーブ
洋和結髮 オゾン美顏術
御染髮洗毛 美爪術
電話 六七八(營業所) 五二五(自宅)
平市驛前
水野化粧院

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六
鑑定項目
名前の一代でみての運命 何んでもわかる……
體力(肉体 疾病)(健康、不健康、相貌)(病根病勢 病名)に關する一切
活動(職業 天運)(適業、不適業)(天運、成功、不成功、炎厄)に關する一切
血緣(家族運 男女緣)(父母の緣、夫婦の緣、子供の緣)有無(氣質、相性、相剋、婚期方位)に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

晝夜診療
胃腸性病 專門
内科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
(見習看護婦募集)
松村胃腸性病科醫院
(平市南町電一〇七番)

看護婦至急募集
(委細面談)
高柳醫院

男女工募集
經驗工 雜役工 見習工 各若干名
希望者ハ至急履歴書持參來社セラレタシ
福島縣平市堂の前
合資會社 平電氣鑄鋼所

或は下痢或は胃腸を害ねたりして三日四日も便通がなくて頭痛を覺ゆる御方はキヽメの早い
靈効散 胃腸藥 を御試し下さい
胃腸病。心臓病。腦。痔。適應藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい。
平市古鍛冶町縣社ノ下
處方調劑所 阿康藥局
電話四四番 振替口座東京三〇〇六五番
定價 五十錢 八日分 壹圓 廿日分
御子様方には飲み易い小兒靈効散があります。

月曜論壇
町内新年會寸感

光輝ある戰捷第二の春を迎へた市内各町が、長期戰下の緊張を忘れぬ程度に於て夫々恒例の新年會を催しつゝあることは、蓋し多幸の希望と多難の現實を載せて回つて來た紀元二千五百九十九年に對して戰時下國民の意識を强調する一面、之の機會に於ける交歡が旋て隣保の結束提携に一段の强靱性を加ふる意味に於て眞に意義深い事であり決して單なる酒食の會合として斥くべきでないと思ふ。而も今春の如く應召軍人の送迎、遺家族の慰問、防空演習の成績等に關し各町内が一個の有機体として活躍した事項其他を内容とする庶務會計報告などが、如何に多事なりし昨年を追想せしめ以て向後の奮起に資することか、恐らく各町内ともこの意義を極めて豐富に加味して之を行つた事と思はれるが未開催の向にあつては如上の趣旨に基いて須く之の會合を最も効果的に生かして欲しいと思ふ。更に之の際吾人の希望に禁へざるは、常にこれを機會として行はるる役員改選等に當つて安價な虚榮の爲に隱然たる相剋摩擦などは斷然之を避け度い事であつて、時局柄將來倍々輻湊すべき事務の遂行上、缺員の補充等は已む無いとしても其れ以外の場合に於ては能ふべくんば任期の如何に拘らず從來その方面の斡旋に訓練を積んだ人々を以てすることが少くとも時局に即應する所以であり、徒らに空名を望む野心家に跋扈跳梁の立場を與ふる改選より遙かに好結果を齎らす事を信じて疑はぬ。事は小なりと雖もお互の和平輯睦こそ鐵の如き銃後心の要素を成すものである。この場合の對象として其のスケールは大に過ぐるかも知れぬが、いま吾々は所謂東亞再建設の希望に燃ゑて居る。建國以來曾て無き雄大なる聖業の前には他く滅私奉公であらねばならない。之をしも蕞爾たる一町内の問題として關心外に置くべきであらうか

長期戰下の心まで 文字通りの美形連
纖手から湧かせた 新田町國民貯蓄譚

女給の銀紙奉仕、バタ屋の屑物献金等、等。國祭八十億の際に咲く人知れぬ涙ぐましい銃後美談は今にはじめぬ事ではあるが、國を擧げての國民貯蓄が紅燈艶冶の平花柳界に最も力强くはつきり反映を見せた—と云ふ軍國の春に極めて快朗な話。

平藝妓屋組合では客臘行はれた經濟戰强調週間中の勤儉貯蓄デーに際し、組合關係藝妓大小約百名に就て其の貯金狀況を調べた處强ち自分名儀のものばかりで無く、中には親姉妹の名にして置くのなども少くないが合計約五千圓、最高六百圓、一人平均五十圓と云ふ額に上つて居る事が判明した内緒の收入まで總てを買ひ食ひや煙草錢に投じて貯へなどは一文も無いのが多いと豫想してゐた處へこの嬉しい意外を發見した組合幹部は大喜び之に力を得た組合では國民貯蓄の大勢に順應し今後ますく之れを奬勵し極力その增殖を圖る事となつた

宴會は勿論少いが 藝者は相當出る
狹斜の巷に春のうしほ

客臘中書き入れの忘年會に逃げられ、大にシケを食つた市の花柳界では、商賣とは謂へ時局柄と觀念して僅かに春の訪れを樂しみ待つたが、果然元日來藝妓の賣れ行きが良く、名指しで呼ぶなどの贅澤は云へぬ程であるが殊にあすに解放の日曜を控へた一昨七日夜の如きは殆ど全部出拂ひとなつて料理屋藝者屋間にお座敷催促應答に甲高い電話戰を捲き起すなど、時局柄表立つた大宴會は無いが今行司の玉數は恐らく意外の額に上るものと觀られてゐる

童心に映へる時代色
第一の就職調べ

巣立ちの春を控へて平職業紹介所には各方面の軍需工場から求人申込が殺到しある平第一校ではこれに備へて此程高等卒業者の就職希望別を調べ上げたが百三十二名中上級學校入學志望者四十名を除いての七割は斷然軍需工場行きを以て占められてゐる外商業一割、其他二割程度である、正に軍需景氣の春ではある

鈴木大尉講演

神谷村在鄕軍人分會並に國防婦人會の合同主催で九日午後一時から小學校に同村出身海軍大尉鈴木莊氏を招き上海南京、武漢攻略の講演をきく

湯本國婦映畫會

湯本町國防婦人會では十、十一の兩日湯本座で映畫會を開くので前賣券二十錢で會員が活動の結果既に二千枚を賣つた同會ではこの純益を町出身の前線將兵とその遺家族慰問費に當てる

次期公認を約束 重大性を有する
今回の縣議補闕選擧

既報、小松縣議の死亡に因る補闕選擧は府縣制の定むる處により事故の發生より三ヶ月以内に執行する事になつてゐるので遲くも三月末迄には之を行はねばならぬが、當選者は臨時縣會の無い限り縣會に出席の機會が無いとは謂ひ條、次期公認の獲得權を設立さるる重大意義を有するので人選の決定には若干の曲折を免れぬものと觀られて居る。因に右の如き事故發生したる時に於て殘任期が六ヶ月以内なる時は別に選擧を必要とせぬ事になつてゐるが、今回の場合は極めて僅かの處で之れを行はねばならなくなつたわけである。

海軍兵試驗
市の志願廿五名

平市の十四年度海軍志願兵採用試驗は來る十六日午前八時から市公會堂に開くが目下の受驗者二十五名で昨年に比し三名の增、締切りが前日迄なのでなほ數名の受驗あるものと見られる

保健所落成式
來る廿五日擧行

國民の保健向上機關たる平保健所（工費一萬四千五百圓）は本縣最初のものとして舊臘末店開きをしたがこれが落成式を來る二十五日擧行することになつた

投槍
投書歡迎

。。。。。近頃感じたこと

◇よその土地へ行つて判らなかつたら聞くに限るよ、と云ひ含められて、私はつい此の間四日ばかり旅をした、なにせ初めてのところなので終始赤毛布振りを發揮したが、世はなさけの譬の通り、親切に敎へてくれる方もあつたが、さも面倒くささうに云ひ放つてサッサと去つて行く人もあつたりして、私はしみじみ旅の味を感じた。

◇そして歸宅して二三日の後、こんどはよそから私の町を尋ねて來た人からこんなことを聞いた『石城地方の人は一体に不親切だものを聞いてもしばらく樣子を見てゐるやうな目つきをしてすぐには敎へてくれぬし、買ひものをしてもたいして愛嬌を見せない、改めるべき事柄でないでせうか』と

◇いくらなんでも石城地方の人が全部かうだとは思はぬし私も土地っ子だけに『淳朴なればこそでせう』とは云つてゐたが一寸苦しい答辯だと思つた、やはり親切にされゝば何となくその土地に親しみがわいてくるもの、私は旅をしてつく〲さう思はずには居られなかつた（鎌田橋畔生）

青年よ滿蒙へ行け
けふ百餘名に講習
座談、映畫會開催

平市及び郡下の青年團滿蒙開拓講習會は九日午前十時から平第一校講堂で開催し百餘名、松田縣社會教育主事補の開辭に次いで國歌合唱 遙拜 默禱、令旨、御言葉奉讀 縣聯合青年團長挨拶後大日本聯合青年團書記北原泰作氏の『滿蒙開拓と日本青年の使命』と題する講演 縣職業課長渡邊一太郎氏の『福島縣の移民狀況』の報告あり終つて座談會や映畫會を開

けふから三學期
二週間の正月休み終る

客臘第二學期の終了以來のんびりと正月氣分に浸つて居た受驗生徒以外の各中、小學校生徒は、昨八日の日曜を最終に前後二週間の休みを終り今九日寒風を衝いて登校、一、二學期の大勢を挽回すべくラストヘビーを掛けねばならぬ第三學期に入つた

新事業もなく 幾分減額豫想さる
今月末に編成完了か
平市新豫算

平市の十四年度豫算は目下各課毎に編成を急ぎ、大体のお膳立てを整へた上遲くも今月末頃までには伊藤助役の下で取纒めることにならうが、差し當り新事業として見るべきものもなく、それにこの時局に當面し、市の財政をも考慮に入れ、緊縮方針の當沼財政だけに當初豫算總額は十三年度に比し幾分減額を見るではないかと觀測されてゐる

小雪ちらつく
地方の冬本調子

きのふ一日吹きまくつた名物空つ風のご機嫌はけふに至るも納まらず郡來の大暴れに流石の平つ子もほと〲閉口の態。板塀の破壞や樹木の倒れ等といつた小被害もそつちこつちに窓越しにたゞ風の行方をうらめしげにみるだけだ、午近くになつて風の中には小雪さへちらつき愈よ石城特有の『冬型』を整へた、水道の破裂續出、風よ！心あらば靜まれ

陣中を聽く
（311）

重慶も何のその！ 勇氣に滿ちて活躍
市内田町出身 三浦富美男君（通信）

日に增し寒さ相加はりました。御地銃後の皆々様には日夕何かと御心勞の御事とお察し致します。市長殿はじめ皆々様には銃後會一つの行事として出征將兵御家族戰傷病死御遺族の御慰問に寧日無き御活動新聞紙上で拝見するだに涙ぐましきものがあると思惟致して居ります。御無沙汰致しまして申し譯ありません。御許し下さい。小生日々元氣です、皇軍の爲め萬丈の氣を吐いて居ります。無抵抗に南支の動脈廣東陷落、次いで漢口陷落、尙ほ次いで皇軍は漢口より遠く五十里位の地迄進擊し重慶何のその〻氣概に充ち滿ちて居ります。徒に蔣親分は惡夢より醒めやらず、長期に抗戰を續け樣と致して居り、飜つて中支軍當局の斷乎たる聲明の示す通りその目的に進軍しつゝあります時銃後の皆々様其の責重且つ大であると思ひます。

却說大別山々脈の戰鬪に從つて江北部隊の苦戰の樣は日に〇〇の食糧さへ充分ならず薩摩芋を食料代りとなし將兵は進む（略）辛苦漸くにして武漢三鎭の陷落なりとは之れ即ち御稜威の然らしむる處であると思ひます。而して戰鬪狀況を御推察に併せて陸に幾多の尊き血によつて綴られた犧牲者のあるを御想像下さい。今私達は當地の警備に就きつゝ過ぐる頃の戰鬪の樣を顧みつゝ其の任に就いて居ります。

微か乍らも
市内長橋町出身 森 清一郎君

日は流れ月は去り玆に一年餘月、砲煙彈雨に大過なく東洋平和確立の爲め微力ながらも軍人の務めを完ふして居ります。八月以來漢口攻擊を起し大別山脈の嶮山にて一ヶ月餘苦闘をなし麻城を突擊したる時に漢口が陷落致しました。今は一段落にて休養致して居ります。（後略）

雲州神國印ソロバン
優勝印高級ソロバン
ニコ〱印高級ソロバン
ドンコ帳簿・ライカ帳簿
代理店 魁文堂
ウエル萬年筆
ライトインキ
ムツソリイニペン
ゼネラル・カーボン紙

。。。。。板間稼ぎ捕る

小名濱町定西日曹土工吉出良吉（二六）は七日午後六時頃同町松の湯で入浴中の田中保所有の外套其他衣類（七圓）を竊取平署に檢擧

平署武道初め

平署の武道初めは今九日の召集日に執行、全署員の紅白試合を行つた

。。獻金。市内新川町上組納税組合では金三十圓を市役所を通じて献金

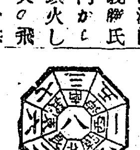
。寄附。市内田町清水廣政氏は金一圓を市軍事後援會へ寄附

小名濱港の船火事
漁網を燒いて鎭火

七日午後六時頃小名濱港内に碇泊中の同町三代義勝氏所有船大勝丸二號船内から發火、漁網を燒いて鎭火したが、損害三百圓、煙突の飛火らしく、この騷ぎに小供の密集ならひ等もあり新春の港を騷がした

小野家葬儀

小名濱町長小野晉平氏六男忠一君の葬儀は既報の如く昨八日午後二時自宅出棺自性院に於て執行したが天逝を悼む多數の會葬者で地方稀有の盛儀であつた



舊十一月二十日 火曜 丁未 赤口 破 尾宿 新一月十日

諸判定應事 東京市本鄕區湯島四丁目 高島易斷總本部神誠館

▲一白 始め物事成るとも後に破る相談事に注意せよ▲二黑 運氣平穩なるも有る物に事かく日安靜第一▲三碧 一時のけ怠は一生のけ怠となる心して働け▲四綠 ゆ斷は百事失敗の基小事も大事と處理せよ▲五黃 家内の和合は富貴の基一家協力してくらせよ▲六白 始め心の儘にならずとも終り百事調ふ日▲七赤 目先の小利に迷ひ大利を失ふな心がんを開け▲八白 此日努して效果あり大に働きて吉兆を得る▲九紫 諸事控目にしてこゝろの修養を忘るゝべからず

玉屋眼鏡店

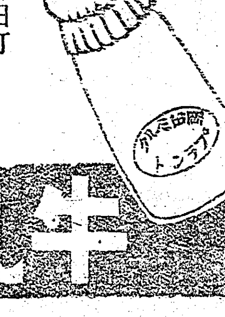
最新流行の 下駄と草履
ドコヨリモ安い 三井履物店
平南町 電話一八一番

故六男忠一儀葬送の際は御多忙中にも不拘遠路態々御會葬被下且つ御懇篤なる御弔問と過分の御香奠を賜り候段難有奉深謝候拜趨御禮可申上處乍略儀以紙上御挨拶申上候　敬具

昭和十四年一月八日

小野晉平

低溫殺菌
斷然一賣行よし
信用と品質と共に備つて
平市鎌田町 電話五一
岡田牛乳



國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
内閣情報部發行
寫眞週報
（1部10セン）
…お取次致して居ります…
（平2） 西村藥局 （電3）

一升貯蓄報國
古風床しき置物にもなります
酒は白菊
景品附特賣
特選大吟釀白菊 一升金貳圓
一升お買上毎に新案わらずに出る武久貯金器壹個差上ます・早い者勝ち
▽每月廿日公休日▲
廣瀨支店 電話五十四番